

一期一会

校長室だより

～子どもの力～



6年生と入場



恵田っ子 全員整列

「先生、ぼくの家の前山からウグイスの上手な鳴き声が聞こえたよ。」

確かな春の訪れを、恵田っ子がいち早く教えてくれます。春はたくさんの命が芽吹きます。通学路の梅の木が一日ごとに美しい花に包まれていきます。令和2年度もあと3月一カ月を残すまでとなりました。

先日あるテレビ番組で「一輪車に挑戦する」という企画がありました。一輪車チームとして大活躍する「ブルーリボン」(★静岡市に拠点をおくクラブチーム★年少児から大学生が所属する ★静岡県大会18連覇中!)という素敵なチームがあることを初めて知りました。2人の女性芸人がこのチームの仲間と共に、一輪車演技に挑戦するという企画でした。その中で、指導するコーチがこう言っていました。

「普通に乗れるようになるだけでも練習と根気が必要です。ましてや手をつないで回ったりするフラワーという技や、互いにほぼ同じスピードでぶつからずにクロスする技はかなりの高難度です。」と。

恵田小に赴任した時、私はまず一人一台のMy一輪車があることに驚きました。さらに、2年生以上の子供たちは全員一輪車に乗れる(!!)ことに本当にビックリしました。なにげない毎日の休み時間を見ていると、運動場では自分の目指す技においてひたむきに練習する子供たちの姿があります。時には転んでしまったりペダルで足をぶつけてしまったり…。毎日、何度も何度も練習し挑戦する恵田っ子の姿に出逢います。すると、ある時ふっと、まるで魔法のように突然転ばずに乗れるようになったり難しい技ができたりする「奇跡の瞬間」に立ち会えるのです。「子供ってすごい」心から感動します。2月24日に恵田小学校初の「一輪車カーニバル」を開催しました。学校休校により運動会が中止となってしまったため、「何とか恵田っ子の頑張りを保護者の方々や地域の方々に見て頂きたい」、という先生方の熱い思いが支えた企画でした。たくさんの方々が見守って下さる中、恵田っ子たちの一輪車演技は本当に素晴らしかった。あのブルーリボンのコーチが難しいと言っていた技を、6年生をはじめとする恵田っ子たちは堂々と演技していました。1学期には全然乗れなかった1年生8人が手を振り立派に入場できました。「子供ってすごい」涙があふれました。目標をもつこと、あきらめずに挑戦し続けること、それは子供たちのこれからの人生においても大切な力となるはず。人はどこかで困難や壁に出会います。そんな時、このふるさと恵田小で鍛えた力が必ず恵田っ子を支えてくれると信じます。

私にもまた一つ新たな夢ができました。ブルーリボンチームのあの素敵なおもしろい一輪車演技。ぜひ本物を恵田っ子たちに見せてあげたいです。



息の合った演技